

Sunday 1.

ベストセラーとまではい  
ないが、今、静かな感動を呼  
び、ジワジワと売れ続けている  
本がある。

『東京のドヤ街・山谷でホ  
スピス始めました。』「きぼう  
のいえ」の無謀な試み(山  
本雅基著、実業之日本社、1  
680円)だ。著者は、東京  
の山谷で、看取る家族がいな  
い人のためのホスピス「きぼ  
うのいえ」をオープンさせた  
人物。資金難や土地探しとい  
ったホスピス開設までの苦労  
から、過密労働による疲労困  
憊、入居者との一筋縄ではい  
かない関係など、美談では終  
わらない奮闘が率直につづら  
れている。

本が売れない時代、とりわ  
けノンフィクションを取り巻  
く状況は厳しく、著書がない  
作者が本を出すのは容易なこ  
とではないと聞く。

「3年ほど前、テレビで  
『きぼうのいえ』のことを知

### ベストセラー 秘話

りました。殺伐とした世の中  
で、社会から忘れられ、孤独  
の中にいる人たちに手を差し  
伸べる『きぼうのいえ』の存  
在は、多くの人の救いになる  
のではないかと、地味なデー  
マではあるけれど、きつと受

## 東京のドヤ街・山谷でホスピス始めました。 「きぼうのいえ」の無謀な試み

(山本雅基著、実業之日本社)

け入れられるはずだと思っ  
たんです」と話すのは、同書の  
編集を担当した藤森文乃さ  
ん。

「編集の藤森さんからは、

哲学や理念を語るのではな  
く、事実をそのまま淡々と書

くようにとアドバイスされま  
した。おかげで文章に飾りや  
力みがなくていいという反響  
を頂いているんですよ」(著  
者・山本氏)

ともすれば、福祉事業家の美  
談として鼻につきかねないテ  
ーマを客観的に執筆したこと  
も、広く受け入れられたゆえ  
んだらう。

「私が『きぼうのいえ』を  
訪問して何より驚いたのは、  
とても明るく笑いが絶えない  
場所だったこと。社会問題な  
どをテーマにした書籍はハー  
ドなイメージがあるけれど、  
この本は明るく希望に満ちた  
感じに仕上がったんです。そ  
れで表紙に入居者の方たちの  
スナップを使ったり、帯の言  
葉を軽快な感じにするなどの

工夫をしました」  
出版後、「きぼうのいえ」  
には、ボランティア希望者が  
連日のように訪ねて来るとい  
う。

「本をきっかけにボランテ  
ィアを始めた人、自分の講演  
会で『きぼうのいえ』のこと  
を紹介してくれる人などもい  
らっしゃいます。とてもあり  
がたいことです(山本さん)

世の中に本は「まんとあれ  
ど、実際に人を動かせる本は  
そう多くはない。その意味で  
も、同書は、ベストセラー以  
上に価値がある一冊といえる  
かもしれない。

(ライター)

飯島裕子  
|| 隔週掲載



## 読者を行動に駆り立てる一冊

ビジネス

Book